

令和元年度 学会・学術に関する委員会 事業報告

1. 活動テーマ

日本公衆衛生看護学会学術集会での全国保健師長会の企画提案（ワークショップ実施）及び学術集会の企画委員及び実行委員としての参画

2. 目的

地域保健で働く保健師が調査研究やまとめを報告する場所を確保し、公衆衛生看護の専門職として自己研鑽や資質向上を図る

3. 実施状況

(1) 委員会開催

回	開催日	場 所	内 容
1	6月8日（土）	愛媛看護会館	【第1回委員会】 ・委員会の位置づけ・役割及び活動経過説明 ・平成30年度の活動状況及び引き継ぎ事項確認 ・令和元年度の活動計画協議（第8回日本公衆衛生看護学会学術集会での全国保健師長会ワークショップの企画検討及びスケジュール） ・各委員の役割分担 ○出席者 4名
2	10月19日（土）	松山市総合コミュニティセンター	【第2回委員会】 〔ワークショップの準備〕 ・運営・進行・役割分担 ・講師等関係者への依頼 ・チラシ案の作成 ・アンケートの検討 ・当日準備 ・ワークショップの準備 ○出席者 5名
3	令和2年 1月11日（土）	松山市総合コミュニティセンター	【第3回委員会】 ・ワークショップの最終打合せ ・講師打ち合せ ○出席者 3名
5	1月12日（日）	松山市総合コミュニティセンター	【ワークショップ開催】 【第4回委員会】 ・ワークショップのまとめ、振り返り ○出席者 5名

- ・上記のほか、随時メール・電話等での協議を実施
- ・県内委員1名は、第8回日本公衆衛生看護学会学術集会企画委員会に出席

4. 結果・課題

- ・第8回日本公衆衛生看護学会学術集会において「地域に責任を持つ保健師活動～組織的、戦略的に育ちあう仕組みを展開するために、管理期の保健師がどう取り組むべきか考える～」をテーマにワークショップを開催し、参加者は115名であった。
- ・取組の報告として、2自治体から、保健活動の骨幹となる健康づくり計画で大切にすることや大学と連携した活動について OJT の場として活用した人材育成、県と市町村が一体となり計

画的に取り組んでいる人材育成について報告を受けた。また、まとめとして、「人材育成体制構築における課題と支援のポイント」をテーマに、管理期保健師は①自分の魅力を高める、②若い人を育てて底上げを図る、③保健所は地域の看護職の確保と底上げが責務である、④大学教員の活用や職域連携により保健・地域の枠を超えて取り組むことの重要性などを学んだ。

- これらを通して、管理期保健師として目指す姿を踏まえ、施策展開に必要な人材育成やマネジメントの在り方について説明でき、後輩保健師のモチベーションアップのために明日から取り組めることを自らが見つけ説明でき、公衆衛生活動のプロとして、人材育成の必要性を認識し、配属された部署での役割について考える機会となった。
- また、アンケート結果からは、管理期世代自身の学びだけでなく、次の管理期となる世代からも、職位獲得の必要性、保健師のめざす姿やイメージすることの大切さや保健師活動を改めて考える必要性などの学びの声があり、ワークショップに対する期待がうかがえた。

5. 委員

○青野桂子	愛媛県中予保健所健康増進課
越智澄恵	愛媛県今治市役所健康推進課
花崎みゆき	愛媛県松山市役所介護保険課
山科美絵	東京都多摩府中保健所保健対策課
中村美奈子	東京都健康安全部環境保健衛生課